

令和4年度 がん教育総合支援事業「がん教育外部講師派遣」報告書

学校等名 佐世保市立福石中学校 担当者名 北島 夕貴子
 電 話 0956-31-5708 F A X 0956-31-5709

実施日 令和4年11月18日(金) 9:50 ~ 12:50

場 所 佐世保市立福石中学校 体育館

講座名 がん教育講演会「がんについて正しく理解し、自他の健康や命について考えよう」

講 師 みさかえの園あゆみの家 副施設長 岡田 雅彦 氏 (がん専門医)

近隣校への案内 案内先:なし 計 校

参加者	児童・生徒 第2学年 (73)人	学校職員 (5)人	保護者 ()人	他校職員等 ()人	その他 (県教委等2人) (80)人
-----	------------------------	--------------	-------------	---------------	--------------------------

テーマと内容
 テーマ「がんについて正しく理解し、自他の健康や命について考えよう」
 ①がんに対する正しい知識
 ②がん患者さんとみんな(健常人)との違いがないこと
 ③がん患者とその方を支える人々のこと
 ④自分や周りの人の健康や生命の大切さ、これからの生活に大切なことについて

＜当日の様子＞ *事業の様子等を必ず画像で添付してください。 【講師による講話】



＜講師からの指導や助言・成果＞

- ・がんという病気は誰もがなりうる病気だけど、生活習慣で予防できることもある。がんは小さいうちに見つけると治りやすいので、がん検診を受けることが大事である。
 - ・自分の生きる意味は、リダンダンシーのきかない(代わりがきかない)ところにある。だから、「自分を大切に」しよう。
 - ・「めいわく」「自立」の意味を考えよう。体が丈夫な私たちは誰かに頼っているから「一生懸命でなくても生きていける」。みんなの周りには一生懸命に生きないといけないう弱い立場の人がいて、その人たちに対して自分にできることを考え、してあげることが大事。
 - ・自分にできることを想像し、行動できる人になろう。そのために、たくさん本を読んで、たくさんの方を知り、想像する力をつけよう。
- とても分かりやすく大事な話をいただき、生徒も教員も大変勉強になり、生きるうえでの大切なことを学ぶことができた。

＜今後の取組及び課題＞ *今後のがん教育の充実に向けての活用等

講演会後に振り返りの道徳を実施し、具体的に自分たちにできることを考える予定。今年度の計画の反省を次年度に活かし、今後も、がんについての知識だけでなく、自他の健康と命の大切さを学び、適切な態度や行動をとることができるように取り組んでいきたい。